

南三陸 復興まちづくり通信

第40号 (平成29年10月発行)



一般社団法人 復興みなさん会

復興みなさん会は平成23年10月から、南三陸町内で東日本大震災の復興支援を継続しています。町内外の皆さまに当会の活動の内容をご理解いただくとともに、復興の最新情報をお伝えすることで、共に地域の再建への道を歩んでいただけるよう『南三陸復興まちづくり通信』を毎月発行しています。読者の皆様からの情報、ご意見、ご提案を頂戴できれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。



南三陸町役場新庁舎完成！ 震災の教訓を生かし高台に再建

大震災の津波で被災した南三陸町役場本庁舎の新築工事が完了し、9月3日に開庁式が行われました。式には関係者およそ130人が出席。地元の大森創作太鼓のメンバーが力強い演奏を披露し、テープカットで祝いました。新庁舎は鉄骨、鉄筋、木造を組み合わせた3階建てで、延べ床面積は3,772平方メートル。入り口には屋外広場と一体的に利用

できる「マチドマ」を呼ばれるスペースも設けられ、待合や休憩だけでなく、展示や各種イベントにも利用可能です。南三陸町産材をふんだんに使用し、環境に配慮した森林経営や製造物を認定する国際機関「森林管理協議会(FSC)」の全体プロジェクト認証を取得しています。総工費は、約21億5千万円です。

天王山中央自治会が設立総会開催！ 志津川東復興住宅に2つ目の自治会誕生

志津川東復興住宅で9月24日、自治会の設立総会が行われました。同住宅の第2集会所で開催された総会には入居151世帯から117人(委任状含む)が出席。自治会の名称を「天王山中央自治会」と決定したほか、規約や予算などを決めました。役員を選任では、佐竹一義さんが初代の会長に就任。今後の活動計画については、新役員が会議をして決めていくことになりました。8月の一般公募により、新たに10世帯が入居の予定です。



(設立総会の様子=志津川東復興住宅第2集会所)

集団移転先でも仲良く交流

～みねはた団地で初めての夏祭り～

歌津の高台移転「みねはた団地」で8月26日、初めての夏祭りが開かれ、多くの住民が親睦を深めました。神奈川県秦野市有志による被災地支援隊のメンバー40人が来訪、祭りを盛り上げました。祭りには団地住民や他の高台団地、復興住宅の入居者など約200人が来場。団地集会所や広場、公園を会場に、秦野観光和太鼓の演奏が披露されたほか、焼きそばや流しそうめんなどが振る舞われました。この催しには、県の地域コミュニティ再生支援事業補助金が活用されました。



(地区の住民およそ200人が参加した夏祭り)



(神戸フィルのメンバーによるコンサートの様子)

公営住宅集会所にクラシックの音色響く ～神戸フィルハーモニックがコンサート～

東日本大震災の被災者が暮らす歌津伊里前復興住宅で9月17日、神戸フィルハーモニックの団員10人による「お茶っこコンサート」が開催されました。集会所で行われたコンサートには入居者や隣接する高台移転団地の住民など約30人が来場。心に染み入るようなクラシック曲や日本の歌曲のメドレー、映画音楽などに聴き入りました。復興支援ソング「花は咲く」の演奏では、聴衆全員が歌い、会場が一つになりました。神戸フィルのコンサートは今年で7回目です。

住民の交流拠点が完成 盛大にこけら落とし

歌津の高台移転「中学校上団地」内に「伊里前地区集会所」が完成し9月17日、住民が参加して落成記念の「こけら落とし」が行われました。団地住民や隣接する伊里前復興住宅の入居者などおよそ50人が来場し、新しいコミュニティ活動拠点の完成を祝い合いました。この日は、「貴山流藤美会」の貴山藤な美会主が、北海道から沖縄までの民謡をアレンジした創作舞踊を披露したほか、民謡桃靖会の阿部勝造さんら6人が「長持歌」の新築祝いバージョンなど目出度い曲を次々に披露し、観客を魅了しました。



(手拍子を取りながら民謡に聴き入る来場者たち)

一般社団法人 復興みなさん会

〒986-0751 宮城県本吉郡南三陸町志津川字上の山26
上山八幡宮 社務所内 minasan.msrk@gmail.com

当会は今年度、トヨタ財団と大阪コミュニティ財団から助成をいただいで活動しています。